



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 29 年 5 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



「酒たるがえし」大漁豊作を願う春祭り

第 48 号の内容

- 3 月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・ P 2－7
- 3 月定例会議・・・・・・・・・・ P 8
- 特別委員会活動報告・・・・・・・・・・ P 9
- 3 月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・ P 10
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 11
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 12

第48号

いっぱん質問

3月定例会議の一般質問

問 災害時の情報源である
ラジオ波の難聴解消は

答 可能な限りクリアな受信環境を作っていく



酒元 法子 議員

問

町地域防災計画で常備品として、ラジオなどを明記しているが、町内全てで放送が聴けるか確認しているのか。

答 総務課長

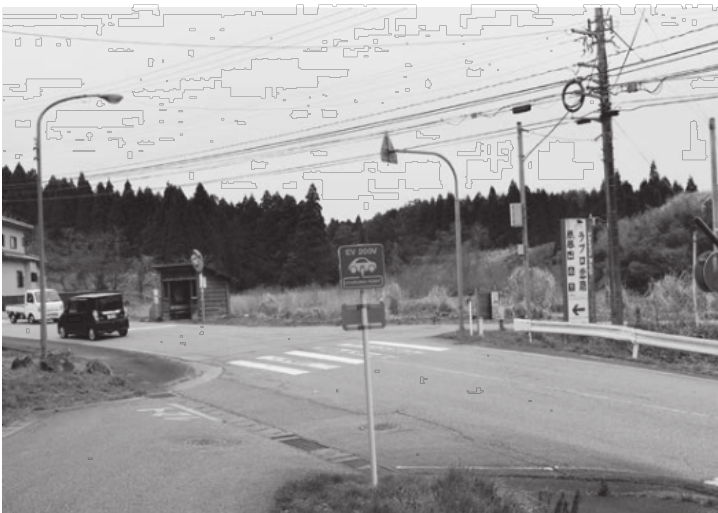
全く受信できない所はないと思うが、受信状況は確認していない。

問

5・6年前と同じ答弁と思います。テレビは有線化、携帯は通話制限等で情報収集にはラジオが最適である。奥能登市町と共同で難聴地域解消に向け事業者や県に働き

問 観光施設利用後の
帰路のための看板設置は

答 観光客や利用客の
利便性向上に向け検討する



ラプロ恋路周辺分岐点

答 町長

かけては。受信状況を確認してNHK金沢と相談しながら環境を整備したい。広報活動も行っていく。

問

七見の「なごみ」を利用された観光客の方々が国道へ合流する時、左右間違われたと聞きますが初めて利用される方は、直近の道路分岐では迷いやすいのでないか。これは、七見だけでなく、特に美術館やラプロなどとも言えるのでは。来てほしいと言って、帰りは勝手にどうぞでなく、立派

答 町長

観光施設利用後の帰路や次の目的地に向かう最初の道路分岐点に両方向の地先を示す標識の設置を検討し、観光客や利用客のさらなる利便性の向上を図りたい。

問 政策提言「能登高校の水産教育課程の充実を切望」 に対する立地自治体首長としての行動を示せ！



田端 雄市 議員

問

次代を担う漁業就業者が育っていない。本町の能登高校の水産教育の歴史と使命の特異性を發揮させるべき。近年の卒業生の進路も漁業関連へと回帰している様子も見られる。

また、若い漁業希望者の就業の場は、奥能登地域にしっかりとある。

答 町長

海に興味を持ち、海について学びたいという子を育てるため、二年前から町内の小中学校で海洋教育を行っています。その中で、海や漁師のすばらしさというものを伝える場としたい。また、漁業就業者不足が喫緊の課題の認識は持ち、漁業の魅力若者に伝えるためのDVDを作成し、PR

を行っているところであります。また、県の事業として「わかしお塾」の漁業体験も行っておりま

す。今後も、県や漁協、漁業者と協力して、就業者不足に取り組んでまいりたい。

問

町の取り組み、県の施策、様々な方向から取り組む必要がある。が、人を育てるという意味で、町長には、今ひとつ、強く、県関係機関に要望を行っていただきたい。

答 町長

県内でも特異な水産コースでありますので、しっかりと能登高校を守るためにも、議会と一緒に要望、提言活動をしてまいります。

問

スタッフプライド（職員の自覚と責任感をあわせ持つ自負心）をより高く持て！

問

職員に対する苦情が多い。一部の人の言動と考えるが、小さいうちの対処が必要である。

また、役場は、公僕として、公に使える立場という意味でサービス業である。来庁者を100%満足させて帰っていただくことが大事な使命として、一層の努力をお願いしたい。

提案として、町民が審査員の、職員接遇コンテストで競ってみることも町の認知度を上げるというシティプロモーションの目標にかなっていると考えがどうか。

答 町長

人事について、職員の責任は町長にあると考えている。また、役場は町の中で、最大のサービス機関と考え、町人材育成方針に基づき、職員の主体的な自己開発に重点を



置いて取り組んでいる。

接遇面でも、県市町村職員研修で実施しており、コンテストは今後の課題といたします。

※全国の自治体は生き残りをかけて様々な政策を行っています。地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動を「シティプロモーション」と呼んでいます。



市 議 員 等 市 議 員

問 「借上町営住宅」 条例 1 条～4 条について

答 町創生総合戦略のひとつの事業

問

この事業は土地所有者
建築会社、アパート経営
者のためではなくＵＩター
ン者のものか。他の自治
体では、住宅難と空き家
対策の一環事業だ。

1条の公営住宅である
のに、公営住宅法に基づ
かない理由は。

2条でのＵＩターンの
定義は。

4条では公営住宅であ
りながら公募しない理由
は。

※条例については、能登
町のホームページ「例規
集」からご覧ください。

答 町長

ＵＩターンの住居の
確保、定住を図るもの。
借上げ住宅は「町単独住
宅」として運営する。

上位法の制限で政策の
実現が困難になると考え
るためだ。

1年以上町外に住所を
移した人が対象。

公募すると手続きに時
間がかかる移住者が他の
自治体に流れるのを防ぐ
ためだ。

問 「借上町営住宅」 条例5条～7条について

答 公営住宅法に準じて制定している

問

入居者の資格要件を示
しながら、所得要件を設
定しない理由は（5条）

入居者について、町長
の専権、独断事項と読み
取れる。この理解でよい
か（6条）

保証人が同程度の収入
が必要とあるが、入居者
の所得の確認はどうする
のか（7条）

答 建設課長

5条の所得要件は資格
審査のための単なる項目
だ。

6条の入居決定者につ
いては公営住宅法に準じ
て制定した。専権、独断
ではなく、事務手続き上
のことだ。

7条の所得要件は設定
しないとありますが、所
得証明書の提出を求めて
いる。



借上町営住宅

その他質問

問 借上町営住宅8
条以下全条例について

入居者の減免3万円こ
れだけの町民税を納める
人の年収は。

他の住宅入居者、民間
住宅を借上げている人と
不公平では。

新築住宅と決めた訳は
なにか、家賃、借上げ年
数はどのように算出した
のか。

答 税務課長

年収600万円に住民
税40万円近くになる。高
額所得者でも条件を満た
せば入居できる。

答 建設課長

賃貸住宅等の家賃減免
助成で最大3万円の5年
間の規定があるので、こ
れに合わせる。

公営住宅等整備基準に
基づき新築とした。

問 休日保育の充実を望む

答 休日保育の必要性を
検討していきたいと考えている



南 正晴 議員

問

保育所が認定こども園に移行して何が変わったのか。メリットデメリットを示せ。

また日曜、祝祭日など休日保育の実施を望む声がある。

答 町長

新制度により1号認定の幼稚園機能が追加されたのがメリットであり、デメリットは特になく思っている。平成25年度に子育てに関するニーズ調査を行い、希望を踏まえ土曜保育を実施している。休日保育の実施については子育て会議などの意見も参考にしつつ、保育施設数や運営の状況と合わせて検討する。

答 健康福祉課長

保護者が仕事を辞めた場合でも、2号認定から1号認定に切り替わることで継続して同じ認定こども園の利用ができる。

問 奥能登クリーン組合の今後を聞く

答 平成35年度当初から新施設の
本格稼働に向け進めている

問

奥能登クリーン組合のRDF製造を34年度で停止し、35年度からは新たに焼却施設を稼働させる予定であるが、地元への説明は、一度で終わるのか。新施設移行へのタイムスケジュールを示せ。将来の町民負担は軽くなるのか。

答 町長

昨年8月に関係地区の地元説明会を開催し、説明会時の会議録の抜粋及び資料を全世帯宛に配布した。今後は新焼却施設

への理解を深めるため、29年度は関係地区住民を対象に先進地視察を計画している。また、29年度から2か年で生活環境影響調査を実施し、結果の報告会も予定している。

答 環境対策課長

29年度には基本計画と地質調査、31年度は敷地造成の実施設設計、32年度から造成工事、新施設プラント工事の発注。34年12月から試験稼働。35年4月から本格稼働予定。処理費については、既存施設ではトン当たり約5万2000円。新施設ではトン当たり3万2000円となり、負担額も軽減される。

その他質問

問 中学校の部活動
の現状を聞く

小規模校に該当する町の中学校の教職員数は多くない。部活動の指導に当たる先生は指導時間を多くは割けない。部活動を楽しみにしている生徒もいる。外部指導者を招聘すればどうか。他の市町の状況を示せ。

答 教育長

教員は何らかの部活動を担当している。1つの部活動に1人の体制が多い状況であり、必ずしも競技の専門家でない教員もいて、かなり多忙な状況と考えている

答 教育委員会事務局長

能都中で8名、小木中で1名外部指導者を活用している。学校が外部指導者に求める条件として3点。第1に学校の教育方針に従った指導ができること。第2に継続して指導をする時間がとれる

こと。第3に指導する競技に対し経験豊富で理解が深いこと。県内では当町を含め10市町が対応を学校に任せている。

問 若い消防団員に
免許取得の補助を求
む

近年の自動車運転免許取得者はAT限定免許が多く、平成19年6月以降の普通免許取得者は3t未満の車までしか運転できない。若い人が消防団に入団しても消防ポンプ車が運転できないのではないかと。ポンプ車が運転できるように中型免許取得費用の補助を求む。

答 町長

16分団の車両については4トンから5トンクラスであり、普通免許の団員は準中型免許の取得が必要となる。消防団は地域に密着し住民の安心安全を守る重要な役割である。高い志をもった若い団員に準中型免許取得時の費用補助は大変有意義であり、情報収集も含め前向きに検討を考える。



ひばり保育所

問 介護士不足の解消策は

答 有資格者の再就職に上限10万円を支給する



宮田 勝三 議員

問

昨年6月定例会議で介護士不足の実態を踏まえて能登町版の介護士支援策を求めたが、新年度に向けどのような検討がなされたのか、また、実施に向けどのような取り組みがなされたのか問う。

答 町長

能登町福祉人材再就職給付金事業の要綱を作成し、3ヶ月以上の離職期間があり、介護福祉士の有資格者が一定の基準を満たした事業所に再就職をされた場合は、上限で10万円を支給する。

問 港周辺を魅力的な空間にするための組織づくりを

答 官民で取り組む

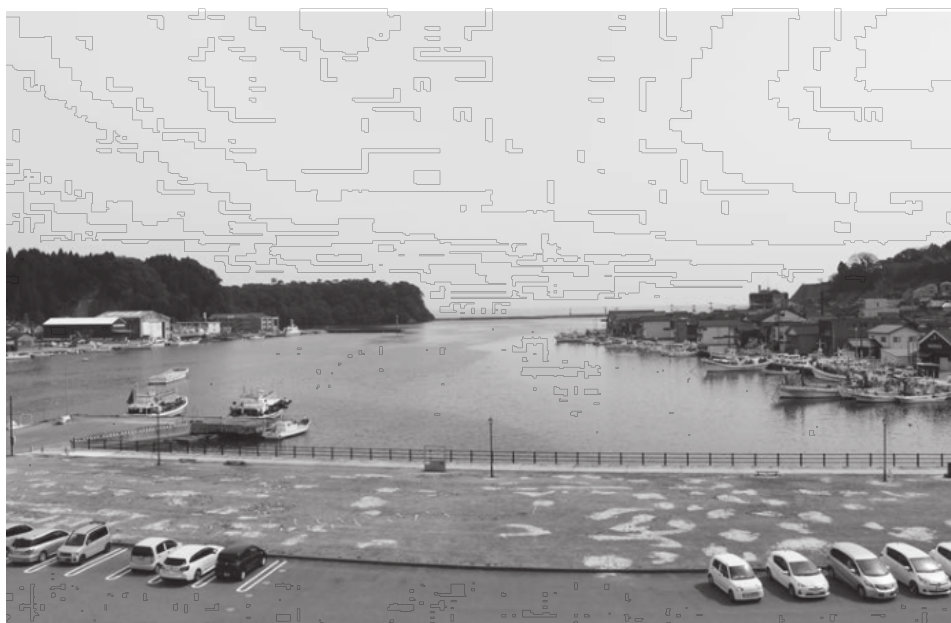
組織づくりの検討を考える

問

宇出津港みなとオアシスという名称が本当の意味で町民や観光客などのオアシスになると願っている。宇出津港と宇出津新港周辺一帯がリンクした形で、便利で魅力あふれ、港町を地域交流や観光振興など、活性化に結びつけるため、官民一体となった宇出津、港まちづくりを推進する組織を立ち上げよ。

答 町長

宇出津港と宇出津新港周辺一帯のまちづくりには、港湾管理者である石川県や漁協、そして港周辺の民間企業などの意見を集約し、官民で取り組む組織づくりの検討を考えてまいります。



宇出津港

その他質問

問 町内会と行政間の土地賃貸を改めるべきでは

集会所が町有地にあるもの、また、集会場の駐車場が、町有地であるものについては改めるべきと、昨年6月定例会議で求めたが、集会場なるもの、行政の一役を担っている観点からも賃貸契約は、いかがかと思われるがその検討結果を聞く。

答 町長

昨年6月の定例会議の答弁では、町として徐々に改善する方向で統一に向けて対処したい旨申し上げましたが、平成29年度において、当該2集会場の賃貸料につきまして減免の方向で当該町内会と協議していく予定としておりますので、ご理解いただきたいと思います。



鍛治谷 真一 議員

問 能登町政治倫理条例の制定を提案する

答 法律を遵守する。倫理条例の必要性はない

問

人事はもとより行政執行に絶大な権限、影響力を持つ町執行部には高い倫理観が求められる。職員の規範も含め、能登町政治倫理条例を制定する考えはないか。

答 町長

政治倫理の確立のための能登町長の資産等の公開に関する条例が、制定されている。また、政治家は公職選挙法で規制され、職員には地方公務員法による規制がある。これらの法律を遵守し、今までどおり町民の代表として、また、政治に携わる者として公平、公正に行動するので、現在のところ政治倫理条例の必要性はないと考える。

問 職員採用委員会の構成、運営を質す

答 能登町職員採用規定により公平公正に採用

問

職員採用委員会は地方公務員法第21条において合格点以上を得た者の氏名及び得点を得点順に記載、報告せよと定めており、公平委員会や監査委員との連携も時には必要としているが適正に運営されているか。

答 町長

能登町職員採用規定により実施している。

構成については、町長が任命、委嘱し、副町長、教育長、総務課長、病院事務局長の4名の委員で構成。委員長は委員会を招集し会務を総務する。委員会では競争試験または選考を行うため審議し、町長へ提言する。今後も引き続き公平、公正な採用試験を期することに努める。

その他質問

問 建造物の建設に伴う管理、運営費を問う。

コンセールのと、ドブネ収蔵庫、宇出津港水産物鮮度保持施設及び水産物加工処理施設と建造物が増えているが、そのラニングコストや管理方法を示せ。

答 町長

コンセールのとは公民館や観光情報ステーション、バス待合室等の複合施設で800万円弱の固定費の予算を計上。ドブネ収蔵庫は太陽光発電の利用や真脇遺跡との一体管理で経費の軽減を計り、グラントオープンで4年後に予定している。鮮度保持施設及び加工施設は3年間の平均で、それぞれ2600万円、1700万円を見込んで

いる。いずれも運用益や製造販売の収入により指定管理者が負担する。



3月に完成した鮮度保持施設及び加工処理施設

第1回能登町議会

3月定例会議

平成29年3月6日に開会した第1回能登町議会3月定例会議は、初日の6日に議案質疑行われ平成29年度当初予算などの議案に8人が質問しました。また、平成28年度消防庁出津分署建設工事の請負工事契約締結に関する議案3件が追加で上程され、採決が行われ原案のとおり可決されました。最終日の15日には委員長報告や採決が行われ、閉会しました。町長から提出された議案47件は原案のとおり可決され、また、追加日程があり、発議2件が提出され、原案のとおり可決されました。

は、これまで様々な場面で対策を講じてきました。イノシシに限ってみると、現在、能登町では、捕獲檻設置数は86基、電気柵距離は約64kmに設置、狩猟免許取得者も銃、わな、網などで128人が対応している現状であります。こうした努力により農作物に対する被害も年間800万円台で推移している現状です。しかしながら、生息環境の変化などによるものか、有害鳥獣の数は増加し、特に奥能登二市二町地域におけるイノシシの捕獲頭数は、平成28年は前年の約5.0倍の943頭にも上ります。この捕獲頭数の多さは、捕獲後の処理がどのようになされているかを問題にするべきレベルではないかと考えます。すなわち、ジビエとしての活用であれば、安全と安心は確保されるものの、近隣

「議会議案」

◎発議 第1号 有害鳥獣向け食肉処理施設の整備等を求める意見書

■要望内容

有害鳥獣対策について

におすそ分けする食べ方、さらに季節により食に適さない時期の廃棄処分など、食の安全性、環境衛生の課題ともなってくるものと考えられます。

以上のことから、今日的課題として、鳥獣の捕獲後の処理の道筋を明確にしておかなければならない時期と考え、以下の項目について、強く要望します。

○第一点目

有害鳥獣捕獲後の処理方法について、上述のとおりその対応の緊急性が求められていることから県が策定している方針のつとり、具体的な施策（焼却施設など）を早急に整備すること。

○第二点目

奥能登二市二町地域の中間点になる県立能登高校柳田校舎に、捕獲後、迅速に食用処理できる施設を整備すること。

以上、地方自治法第99条規定により意見書を提出する。

◎発議 第2号 北朝鮮による弾道ミサイル問題

の早期解決を求める意見書

■要望内容

北朝鮮は、我が国を始め、国際社会からの累次にわたる自制要請を無視して3月6日、弾道ミサイルの発射を強行した。

これまで繰り返してきたミサイル発射は、国連安全保障理事会の決議に明らかに違反し、国際社会の平和と安心を著しく損なう行為であるほか、今回のミサイルの4発のうち1発は、能登半島北北西約200キロの海域に落下したとみられる。これまでで最も日本本土に近い海域であり、うち3発は、日本沿岸から約370キロの排他的経済水域（EEZ）内に落下した。その落下したとみられる海域の近くには、好漁場の「大和堆」があり、漁業関係者の安全な操業が脅かされている。

また、我が国の安全保障そのものに対する直接的で重大な暴挙であり、断じて容認できるものではない。

よって、国におかれては、次の事項について、全力をつくして取り組むよう強く要望する。

○第一点目

国際社会との連携を一層密にし、北朝鮮に対して、国連決議の順守を平和的に働きかけるとともに、北朝鮮における弾道ミサイル問題の早急な解決を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

以上、2件を議会議案として、3月15日に追加提出し起立全員で原案のとおり可決され、各関係機関に提出しました。

第2回能登町議会

4月会議

平成29年4月4日に第2回能登町議会4月会議が開かれました。議長発議が4件提出され、次のとおりとなりました。

◎議案第51号 平成29年度能登町一般会計予算補正予算（第1号）

※町内小中学校及び能登高校周辺の夜間照明を増やし、児童生徒の安全確保を図るほか、能登町防犯協会が実施する防犯パトロール事業への補助金を追加計上しました。

◎選任第1号 能登町議会常任委員会委員の選任

について

・総務産業建設常任委員会委員 馬場 等委員
・教育厚生常任委員会委員 志幸 松栄委員

◎選任第2号 まち・ひと・しごと創生特別委員会委員の選任について

・馬場 等委員
・志幸 松栄委員

◎選挙第1号 石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

・当選 持木 一茂

また、町長から5件の議案が提出され、議案第52号から議案55号までの4件は人事案件で原案のとおり同意し、議案第51号については、原案のとおり可決されました。

◎議案第51号 平成29年度能登町一般会計予算補正予算（第1号）

◎選任第1号 能登町議会常任委員会委員の選任

まち・ひと・しごと創生特別委員会活動報告

「農林水産大臣への要望と視察」（東京都・埼玉小川町）

特別委員会委員長 椿原安弘

平成29年1月30日から3日間の日程で、日本海大和堆での違法操業外国船取締体制の強化対策

で、農林水産大臣への要望と埼玉小川町における地域有機農業推進事業の取り組み状況を議員11名で行ってきました。

違法操業外国船取締体制の強化対策の要望活動については、まず、佐藤一雄水産庁長官に要望し、続いて、向峠議長から山本有二農林水産大臣

に要望書を提出いたしました。山本大臣は北朝鮮や中国、ロシアの船が活発に活動をしているとの認識を示し、海上保安庁や水産庁の監視船を駆使し、不安解消に努めたいと述べられました。要望活動には地元選出の北村茂男衆議院議員にも同行していただきました。

山本大臣も国会会期中の予算委員会の大変多忙であるにもかかわらず、

対応していただきました。

翌日の31日には「地域ぐるみの有機栽培によるむらづくり」について埼玉小川町へ視察してきました。小川町下里地区は地域ぐるみで有機栽培へ取り組み、地域の豆腐店、酒造会社等の商工業者との間で「全量、再生可能な価格で、現金で」買い上げる関係を確立。

有機栽培の在来品種の大豆で作った希少性の高い豆腐が人気を呼ぶなどして、連携した豆腐店は繁盛している。有機の純米酒を醸造する酒造会社と協力して「米作りから酒作りを楽しむ会」を運営し多くの家族連れが年間を通じて訪れ、消費者との交流関係が構築されていきました。有機農法の先駆者、金子美登氏にお世話になりました。



山本大臣へ要望書を提出

演 題 「持続可能な地域を目指して

立ち上がった住民たちの挑戦」

講 師 伊座利の未来を考える推進協議会

草野 裕作 氏（徳島県美波町）

～まち・ひと・しごと創生特別委員会研修会～



平成29年3月17日にまち・ひと・しごと創生特別委員会の研修会が「コンセールのと」で開かれ、町議や町民ら50人が参加しました。

研修会の講師として徳島県美波町の「伊座利の未来を考える推進協議会」の草野裕作さんが、「持続可能な地域を目指して立ち上がった住民たちの挑戦」と題して講演されました。草野さんは、人口減少に悩む地区だが、人口約100人のうち六割近くが全国各地からの移住者で、高齢化率20%前半代であり、家族ぐるみの移住で未就学児が人口の1割であることを紹介していました。

伊座利には食事をするところも宿泊するところもないことから、海女さんや漁師のおばちゃんたちが運営する漁村カフェ「いざりCafe」のオープンでした。カフェは地域情報発信の場として、県内外から年間2万人ほどが訪れるようになったそう、もちろん、漁師をしたいという男性の若者も増えて来ていますとのことでした。

草野さんは講演時間を越えて話していただきました。結びの話の中で、地域住民との協働の地域づくりができるにはどうしたらいいのかと考え、そのためには、議会を含む自治体組織に、住民から見た3つの力として、「時代の潮流を先読みする力」「改革と創造を実現する力」「まちや地域を支える力」この3つの力が、行政組織、自治体組織には求められているんじゃないかなと結んでいました。

その伊座利地区が取り組んだ振興策は、女性を中心ににした活動です。その一つがアワビやサザエを素潜りで採ってくる本格的な海女さん体験塾の開催です。参加者一人ひとりにあった体験ができる魅力や話題性から首都圏をはじめ、全国各地から参加がありました。また、



議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

平成29年3月定例会議の議案質疑では、8名の議員から質問がありました。主な質疑、答弁は次のとおり。

問 金七祐太郎 議員

地方創生推進費の婚活支援事業について、これまで3年間の事業の成果は。また、今後の取り組み方針は。

答 町民課長

結婚を希望する独身男女120名の登録がありこれまでに3名の方が成婚に至っている。今後は、県や近隣市町と連携し広域的な交流を図り、登録者の自己研さんにも支援していく。

問 市濱 等 議員

浄化槽整備促進事業について、今後、人口減少により不要となってくる

浄化槽の対策は検討しているか。

答 上下水道課長

町設置型の浄化槽は、現在410基設置している。今年度も30基分を計上している。今後、不要となった浄化槽については、空き家対策を含め、取り壊しや撤去など、対処方法について検討していく。

問 田端雄市 議員

漁港管理費の工事請負費について具体的に。

答 農林水産課長

矢波漁港の防波堤整備で500万円、小浦漁港の資材置き場の舗装工事で700万円、比那漁港の水たたき修繕工事で100万円、藤波漁港の長嶋公園のカラー舗装工事で400万円としている。

る。

問 鍛冶谷眞一 議員

鶴川小学校の後背地は、現在も土砂災害の特別警戒区域となっているか。

答 教育委員会事務局長

現在も土砂災害特別警戒区域となっている。今回、学校施設の安全対策として、土砂災害対策工事5400万円を計上している。

問 南 正晴 議員

畜産事業費について、能登牛の生産に乳用牛のおなかに種を入れて産ませるのは、値崩れを起こす原因にならないか。

答 農林水産課長

県に確認したところ、母体となる牛が黒毛和種であろうとホルスタイン種であろうと子牛の評価は変わらない。また、全

国的に子牛が不足している状況で、和牛の繁殖農家に影響はない。

問 椿原 安弘 議員

戸籍住民基本台帳費について、個人番号カードの交付状況は。

答 町民課長

平成28年1月から交付を開始。現在まで1341名が申請し、1186名にカードは交付済みです。

問 宮田 勝三 議員

部活動の公式大会や練習試合の交通費助成の内容について問う。

答 教育委員会事務局長

部活動等遠征事業費では練習試合や交流大会等で半額助成とし1300

万円計上。大会派遣費では、北信越・全国大会に100%補助とし、安全な移動手段の確保に努める。

問 小路 政敏 議員

海洋深層水取水施設の使用料及び賃借料94万円は誰から借りているのか。また、九十九湾観光施設整備基本計画業務の内容は。

答 ふるさと振興課長

使用料及び賃借料の相手は、石川県です。2150㎡の使用に対し、1か月1㎡当たり36・68円を算定したもの。

続いて九十九湾観光施設整備基本計画業務は、まず、九十九湾周辺の観

光実態及び観光資源の整理と把握。

次に小木港湾の利活用に関する条例等の法的な制限の整理。

最後に、観光交流センター（仮称）イカの駅の管理、運営計画と実行可能な推進体制について検討するものです。

能登町議会議員補欠選挙

去る3月26日（日）能登町議会議員補欠選挙が行われ、2名の方々が当選されました。（任期は平成29年3月27日から平成30年10月31日まで）

・志幸 松栄 宇出津
・馬場 等 鶴川

町民の声を募集

議会傍聴しての感想や意見、町政や地域社会の発展に関心がある方のご意見など多くの町民の声を掲載させていただきます。まずは、議会事務局までご連絡をください。お待ちしております。

電話番号62-8540



総務産業

建設委員会

椿原安弘（委員長）
市濱等（副委員長）
國盛孝昭・酒元法子
河田信彰・宮田勝三

3月7・8日に委員会を開催し付託された議案18件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答等は次のとおり。

●一般会計予算

問 能登高校魅力化事業で、国立大学進学者に30万円を支給するとなっているがその根拠は何か。

答 能登町の中学校から能登高校へ進学する人数は例年4割強であったが、28年度は極端に30%までに落ち込んでいる。過去の保護者のアンケートで、なぜ能登高校を選ばない

問 観光発信業務で電車での広告内容は何か。

答 のかのところで、進学実績のところに記入する保護者が数多くあった。町外の高校へ進学される生徒の多くは、将来の進学を考えて、金沢や七尾、飯田など6割から7割が町外へ出るのが、進学実績から見られる。

国立大学進学が選択肢の大きな要因でないかと言うことで、まず、能登高校から国立大学への進学実績を目指してほしいと言うことである。

30万円で励みになるかどうかかわからないが、町からはそう言うところを考慮して、応援したい。

問 棚田保全対策支援事業の内容は何か。

答 この事業は農家に対する作業用の耕運機、トラクター、田植え機、コンバイン等の4機種の購入助成である。

教育厚生

金七祐太郎（委員長）
田端雄市（副委員長）
小路政敏・南 正晴
向峠茂人・鍛冶谷眞一

3月7日に委員会を開催し、付託された議案31件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計予算

問 福祉タクシーの利用対象者、交付予定について説明せよ。

答 560円の基本料金を補助するもので、24枚つづりを50名の方に。透析に通う方は回数が多いので96枚つづりを8名の方に交付を予定している。

対象者は、身障は1、2級、精神は1級の方、療育はAの方に限定し交

付をしている。

問 障害者の認定申請や人数について説明せよ。

答 身体障害者の方は肢体内部疾患、目、耳など項目ごとに1級から6級までの等級に認定される。知的障害者の方は療育A、Bに判定されて手帳を申請、交付される。

精神障害者の方は精神保険福祉手帳や公費負担の申請をされている方々です。

当町では身体障害手帳を持つている方は1020人程。療育手帳を持つている方は160人前後、精神障害保健福祉手帳を持つている方は100人程である。

問 公立宇出津総合病院の看護師研修について。

答 技術研修は頻繁に実施

しているほか、接遇研修についても年に一度は講師を招き実施している。

問 認定こども園、保育所の入所数の推移と今後の方向性を示せ。

答 少子化の流れが続き入所数が減少している。但し3才未満の入所希望者は増えている。そのため保育士数の配置必要数は増えている。高倉、上町保育所は特に入所予定数が少なくなっている。

また、施設の老朽化が進んでおり、特にしらさぎ、ひばり、高倉保育所は築40年以上経過して修繕費が増大している。

今後は施設の統廃合を視野に入れて検討が必要と考えている。

1月から3月の主な議会活動

1月7日	町消防団出初式
1月8日	町成人式
1月10日	交通安全祈願祭
1月13日	全員協議会
1月21日	流山市市制50周年
1月23日	広報編集特別委員会
1月25日	総務産業建設常任委員会
1月26日	宮崎県小林市議会行政視察（来町）
1月27日	石川県町村議会議長会臨時総会
1月30日	まち・ひと・しごと創生特別委員会視察研修（51日） 東京都
2月3日	議会運営委員会
2月10日	全員協議会
2月14日	大分県玖珠町議会行政視察（来町）
2月24日	議会運営委員会
3月1日	全員協議会（52日）
3月6日	第1回能登町議会3月定例会議（議案上程）
3月7日	常任委員会（58日）
3月13日	第1回能登町議会3月定例会議（一般質問）
3月15日	第1回能登町議会3月定例会議（採決）
3月17日	まち・ひと・しごと創生特別委員会研修会
各学校卒業式	

次の定例会議は6月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。
ぜひ傍聴にお越しください。議場が平成27年3月より能都庁舎に変わっております。ご意見など
ありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

やわらかな陽ざしの中、今年も入学式に参列させていただきました。来年度より道徳が特別な教科としてスタートするそうです。学者とは、子どもが親を真似して慣れるという意味があるとか。「人の背を見て育つ」。

これから始まる新たな能登町物語に、自分たちはどんな背中を見せ足跡を残すことができるだろうか。

ふと考える山笑う頃であります。皆様、今日もお元気で。

委員 酒元 法子

広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市
副委員長 市濱 等
委員 小路 政敏

酒元 法子
椿原 安弘
鍛冶谷員一